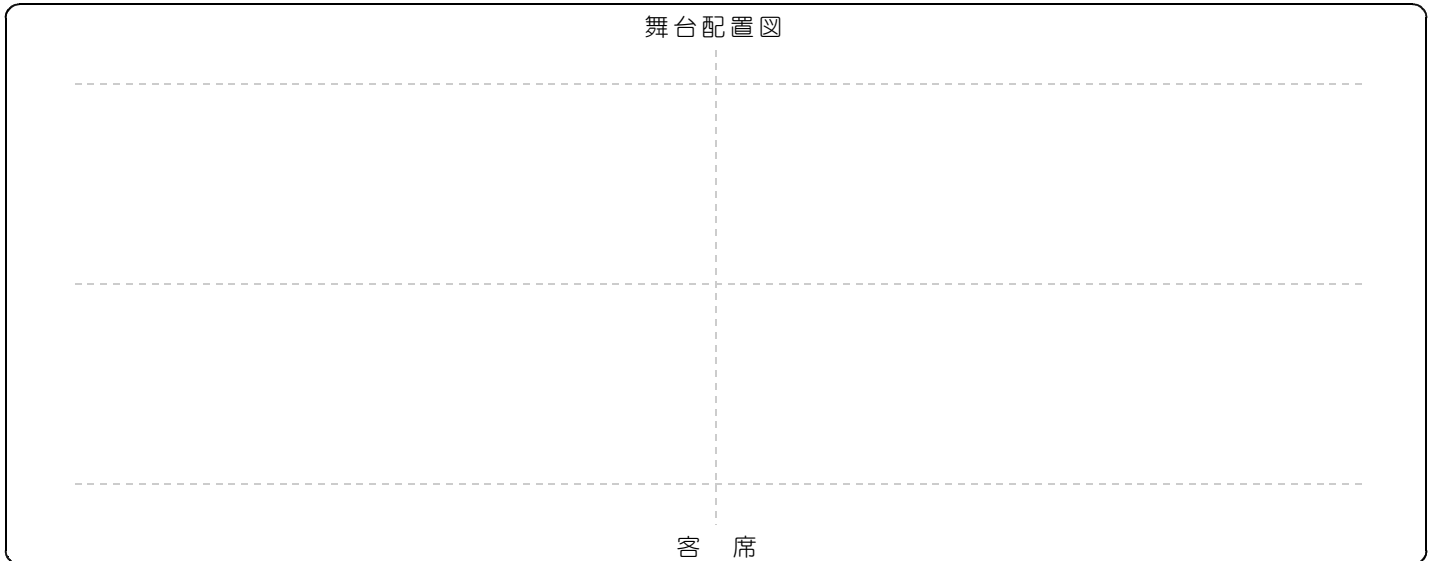


No.	装 画	演奏者数	演奏時間
-----	------------	------	------



客 席

表示記号一覧	一 箏	= 17絃	+ 三絃	0 尺八	≠ 他楽器	* マイク	□ エコー	□ 毛氈	W 屏風
立 奏	立奏台	大 台	小 台	椅子	大 台	小 台	譜面台	台	ハイター 枚
座 奏	琴台	台	見台	台	山台	録音 有：無	録画 有：無	他	
始	緞帳：暗転	板付	毛氈 緋：紺	音響					
終	緞帳：暗転	板付	屏風 金：銀	照明					

調絃表	ピッチ A=44				編成：1箏				2箏				17絃			尺八 1			尺八 2		
Part	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	斗	為	巾								
1 箏					G#		C#			G#		C#									
	E°	B	E°	F°	G°	B°	C°	E°	F°	G	B	C	E								
2 箏			G#		D		A#						A#								
	E°	F	G	B°	C°	E°	F°	G°	B°	C	E°	F	G								
17絃					A		D					A			D						
	B	D#	E	F	G	A#	B	C	D#	E°	F°	G°	A#	B°	C°	D#	E				
	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	1	2	3	4	5	6	7				
尺八	一尺六寸				二尺一寸																

編成欄には面数を記入 開始調絃は太字 転調は上下の欄 ハーモニックスは右肩に○

作曲年 1977年 委嘱者 石垣征山・清美 構成 箏 1・11・十七絃・尺八 1・11 時間 17分 出版楽譜 無し
 解説 この曲は昭和52年7月に、石垣征山・清美夫妻の委嘱によって彼等のジョイント・リサイタルの為に書いた作品です。題名は、その当時結婚間もなかった彼等二人がこれから築いていく二人の歴史の表紙を飾る画になることが出来れば、という気持から名づけたものです。曲は二章よりなり尺八二、箏二、十七絃一の編成で演奏され、尺八は一尺六寸、二尺一寸の高低二本によります。また、アンサンブルの面からアドリブ的要素を求める部分もあって、演奏者に音楽性が要求される作品であると言えるかも知れません。1977年作曲。〔作者者〕
 収録媒体 箏 沢井忠夫作品集2 (VZCG-579) 邦楽演奏家 Best Take 沢井忠夫 (VZCG-120)